



「読書の秋」を図書館で
図書館まつり

11月3日、長門市立図書館で開館以来初となる「図書館まつり」が開かれ、多くの家族連れで賑わいました。

有志ボランティア「図書館まつり実行委員会」により行われた古本市には、開店と同時に多くの人が訪れ、家庭で不用になった本や雑誌などを手に取っては買い求めていました。
 午後からは、萩市のボランティアグループ「べっぴんちゃん」による影絵「花さき山」や影絵遊びが披露され、訪れた人々は文化の日を図書館で満喫していました。



BSふるさと皆様劇場公開録画
人気番組が長門に

11月8日、新長門市誕生記念事業の一環として、NHK衛星第2テレビの番組「BSふるさと皆様劇場」の公開録画がルネッサながとで行われました。

この番組は、芝居小屋の雰囲気ながら、地元の人々にも参加してもらい、客席のみなさんとのふれあいやトークを楽しむもので、梅沢富美男、前川清、神野美伽、桂うららほか市民のみなさん（みすゞ保育園、深川中学校、長門市観光アテンドなど）も出演し、約700人の観覧者は楽しいひとときを過ごしました。



「笑いの芸術」を体験
狂言ワークショップ

11月4日、ルネッサながとで「狂言体験教室」が開催され、市内の小学校5・6年生414人が古典芸能「狂言」を体験しました。

この「狂言体験教室」は、表現することの楽しさを狂言のやり方を通して感じてもらえればと毎年開催されているもので、この日は狂言師・石田幸雄さんの指導のもと、狂言独特の言葉遣いや動作などを体験。舞台上上がった児童らは、慣れない動作にとまどいながらも、満面の笑みで狂言を満喫していました。
 ワークショップの後には、万作の会による演目「附子」（ぶす）を鑑賞。「笑いの芸術」とも呼ばれる狂言の世界に、会場は大きな笑い声で包まれていました。



子どもたちの熱演に拍手喝采
俵山子ども歌舞伎

11月6日、俵山公民館周辺を会場に「俵山区文化産業祭」が開催されました。

俵山小学校体育館で開催された演芸の部では、俵山小・中学校が総合学習の一環として取り組んでいる「俵山子ども歌舞伎」の上演が行われ、俵山小学校6年生12人による「白波五人男」と俵山中学校3年生17人による「三番叟」が披露されました。子どもたちの凛とした表情に、会場から大きな拍手が送られていました。
 この俵山子ども歌舞伎は、来年11月にルネッサながとで開催される「国民文化祭やまぐち2006・地芝居の祭典」で俵山女歌舞伎とともに披露される予定です。



浅田小で原画展と読み聞かせ
北海道の自然に感動

10月27日、浅田小学校で北海道在住の絵本作家本田哲也さんを招いて、絵本原画展と本の読み聞かせ会が行われました。

「文字・活字文化の日」にちなんで浅田小「ひだまりの会」が主催したもので、本田さんが描いた絵本の原画30点が教室内に展示される中、本田さんは絶滅寸前の海鳥「エトピリカ」の保護など北海道の大自然について話し、絵本の読み聞かせを行いました。また、子どもたちの目の前で、マーカーと色鉛筆を使って動物のイラストを描いて見せ、各学年に一枚ずつプレゼントしました。

